

日 時：平成26年4月25日（金） 午後2時～4時

場 所：旭川市民文化会館 3階 大会議室

出席者：構成員 23名

祖母井，大家（代理），菅野，橋本氏，小林氏（代理），
蟹谷氏，中田氏，本間氏，踊場氏（代理），柏葉氏，荒
川氏，山内氏，佐藤氏，馬場氏，須藤氏，庄司氏，高
橋氏，東（代理），越原氏，田中氏，秋山氏，砂田氏，辻
榮氏，

事務局 4名

総合政策部次長 東田 ほか3名

関係者 6名

（一社）北海道開発技術センター 大井，吉田

（株）八千代エンジニアリング 藤田 ほか3名

傍聴者 3名

1 開 会

2 議 事

1）平成25年度 事業結果及び決算，平成26年度 事業計画（案）及び予算（案）について

資料1-1，1-2，2-1，2-2，2-3をもとに，事務局より平成25年度 事業結果及び決算，平成26年度 事業計画（案）及び予算（案）を一括して説明。その後，監事より監査報告。質疑はなく，事務局報告のとおり決定。

2）平成26年度旭川市生活交通路線（旭川市単独補助路線）について

本年度は該当路線がないことを説明。質疑はなく，事務局説明のとおり確認。

3）生活交通改善事業計画（利用環境改善促進等）について

資料3-1，3-2，3-3，3-4をもとに，事務局，構成員（事業者）より説明した後，質疑応答。

構成員） 資料3-3について，裏面の他の交通事業者との連携状況について，「道北バスのＩＣカードと共通利用を目指し，情報交換中」とあるが，資料3-1，3-2のＩＣカード共通利用化が実現した場合，自販機も対応するのか。

構成員） 今後，自販機についても両社に対応できるようにしていきたいが，補助金の動向によってはＩＣカードの共通化自体の進捗が左右される可能性があるため，現時点では情報交換中との表記にとどめている。

構成員） 利用環境改善促進等事業の国の補助率について，33.3%から減るかもしれないとのこ

とだが、相当減る見込みか。

構成員) 本来の補助率は1/3であるが、事務局からの説明のとおり、全国的に申請が超過の状況であり現在、査定を行っている。半分以下になる可能性もあるが、現在、精査中である。

構成員) だいぶ補助金が減る見込みのようだが、ＩＣカードの共通化は進める方向か。

構成員) 金額を見ていただければわかるが、事業者負担が大きくなると厳しい。その辺の経営判断については、補助金の動向を見きわめながら決めていきたい。

以上、質疑終了。事務局、事業者説明のとおり、計画を承認。

4) 地域協働推進事業について

資料4-1、4-2をもとに、事務局より説明。質疑はなく、事業実施、計画、及びプロポーザルによる事業者選定について、事務局提案を一括して承認。

5) 旭川市地域公共交通会議設置要綱の改正について

資料5-1、5-2をもとに、事務局より説明。質疑はなく、事務局提案のとおり要綱改正を承認。

6) 旭川市生活交通ネットワーク計画について

資料6をもとに、事務局より説明。質疑はなく、事務局提案のとおり計画を承認。

7) 各種報告について

事務局) 精神障害者手帳所有者のバス半額化を報告。

構成員) 東海大学に係る路線の変更を報告。

質疑はなく、事務局、構成員(事業者)の報告のとおり確認。

3 その他

構成員) リーフレット「ベビーカーの安全な使用のために」について説明。

八千代エンジニアリング) 住民参加による低炭素都市形成計画策定モデル事業(環境省)について平成25年度の事業実績と、平成26年度の事業計画を説明。

構成員) 駅前のバスタッチの進捗状況について説明。

質疑はなく、構成員、事業者の説明のとおり確認。

4 閉 会

事務局) 次回は秋に開催予定。ただし、案件があれば随時対応していきたい。その際には、あらためて、開催日時を調整させていただく。

以 上